



## 日本骨髄バンクの現状（2019年10月末現在）

	9月	10月	現在数	累計数
ドナー登録者数	3,937	4,731	526,022	811,347
患者登録者数	197	250	2,008	57,854
移植例数	88	123	—	23,751

### ■10月年代別ドナー登録者数（現在数）

10代	5,488人
20代	81,524人
30代	139,557人
40代	223,649人
50代	75,804人

### ■10月の20歳未満の登録者 549人

■10月の区分別ドナー登録者数：献血ルーム／915人、献血併行型集団登録会／3,555人、集団登録会／179人、その他／82人

■10月末までの末梢血幹細胞移植（PBSCT）累計数：823件

注）数値は速報値のため訂正されることがあります。

## 1 2019年台風15号および台風19号等の豪雨災害に伴う対応について

2019年台風15号および台風19号等の豪雨災害におきましては、お亡くなりになられた方々にお悔やみ申し上げるとともに、被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。

当該地区で採取や面談等を予定されているドナーの状況を確認させていただき、幸いこれまでにコーディネートへの大きな影響はありませんでした。被災地にお住まいの方々へのドナーコーディネート依頼は、安全確保など総合的に勘案し一部地域においては見合わせておりましたが、11月11日（月）より、全地域で再開いたしました。

被災された地域の日も早い復旧・復興をお祈り申し上げます。

## 2 ドナー登録申込書のEメールアドレス記入欄、来年度廃止

骨髄バンクドナー登録申込書（以下、申込書）のEメールアドレス記入欄を来年度に廃止します。

理由は、当法人ではコーディネート上の連絡手段としてSMS（ショートメッセージサービス）の活用を開始したこと。また、2016年度から2年間ドナー登録者へのバンクニュースの郵送でのお届けを年1回に変更したことに伴い、希望者にはEメールを使ってバンクニュース発行のお知らせを行いましたが、2018年度より年2回の郵送に戻ったことが挙げられます。

これに伴い、2019年12月1日登録受付分から2020年4月発行のチャンス改訂時まで、現行の申込書においてもEメールアドレスの記入が不要になります。各都道府県・保健所受付窓口のご担当者、および説明員等の皆さまにおかれましては、別紙をご確認のうえご対応をお願いします。

なお、バンクニュース発行のお知らせは、ホームページやTwitterで随時行っています。

## 3 「骨髄バンク推進月間2019」報告

10月の骨髄バンク推進月間は、ドナー登録者数は4,731名で、昨年同月比719名増という結果でした。全国各地で数多くのドナー登録会やキャンペーンイベントが開催されました。

富山県の「富山マラソン」では、2017年より前日受付会場で骨髄バンクドナー登録会が毎年行われ、昨年の実績をさらに上回る81名（前年57名）の方にドナー登録いただきました。また、9月に骨髄バンク推進全国大会を行った長野県では、台風の影響で4件中止となったものの、10月の登録会開催数が計16回と通常月の2倍近くになりました。

ドナー登録していただいた皆さま、ご協力いただいた関係者の皆さまに感謝申し上げます。

## 4 Jリーガー早川史哉選手の移植体験が本になりました



昨年（2018年）12月発行の日本骨髄バンクニュース第53号にご登場いただいたJリーガーの早川史哉選手（アルビレックス新潟）が自らの移植体験を記した書籍が10月下旬に発刊されました。タイトルは『そして歩き出す』。

早川選手は、Jリーグデビューの2016年春に急性白血病と診断され、骨髄バンクを介して骨髄移植を受けました。移植後は復帰を目指してリハビリ、トレーニングを続け、2019年10月公式戦ピッチにフル出場を果たしました。どのような想いで現実を受け入れ、壁を乗り越えてきたのか、その生きざまがそのままに明かされます。全国の書店またはAmazonでお求めいただけます。ぜひご覧ください。

著者：早川史哉 発行元：株式会社徳間書店 判型：四六判  
 価格：1,650円（税込）※本書は収益金の一部が当法人に寄付されます。

## 5 非血縁者間末梢血幹細胞採取施設の新規認定

下記の施設が新たに非血縁者間末梢血幹細胞採取施設として認定されました。これにより末梢血幹細胞採取認定施設数は116施設となりました。ホームページでもご覧いただけます。

○名古屋第二赤十字病院

◇HOME > ドナー登録されている方へ > 面談施設一覧

## 6 「ドナー休暇制度」の導入、478企業・団体に

働きながらドナーになる方にとって提供しやすい環境作りのため、当法人では全国の企業・団体等に向けて「ドナー休暇制度」の導入を推進しています。導入を確認しているのは478企業・団体です（11月1日現在）。ホームページにドナー休暇制度の導入情報一覧を公開しています。

広島国際大学においては、2019年10月より学生向けに「ドナー公欠制度」が導入されました。学生がドナー候補者となって検査や入院等で授業を欠席しても“公欠”扱いとなるため、成績評価に影響することなく安心して提供にのぞむことができます。

ご関心のある企業・団体へは、当法人の専門職員を派遣して導入に向けたご説明をします。これからも「ドナー休暇制度」の導入をいっそう推進してまいります。

◇HOME > 募金ご協力のお願い > 企業・団体による支援 > ドナー休暇制度導入企業

◇お問い合わせ先：広報渉外部・ドナー休暇制度導入担当 TEL 03-5280-8111



## 7 ドナー助成制度、鳥取県が初の全県民対象の助成開始

新たに18の県・市・町で「骨髄バンクを通じて骨髄または末梢血幹細胞を提供したドナーのための助成制度」が導入されています。全国で605の自治体になります。鳥取県では、県内在住の提供者やその勤務先に向けた骨髄ドナー提供支援金制度を今年10月から導入しました。全国初となります。

助成制度の内容は各自治体によって異なりますので直接お問い合わせください。ホームページにドナー助成制度の問い合わせ先一覧を掲載しています。

◇HOME > ドナー登録されている方へ > 骨髄・末梢血幹細胞の提供までの流れ  
> 提供ドナー助成制度を導入している地方自治体・民間団体

### ■新たに導入が確認された自治体

- 安八町、揖斐川町、海津市、可児市、川辺町、郡上市、坂祝町、白川町、関ヶ原町、垂井町、富加町、七宗町、瑞穂市、御嵩町、美濃市、輪之内町（岐阜県）
- 津和野町（島根県）
- 鳥取県（県内在住の提供者および事業所が対象）

## 8 当法人の会議等開催予定

傍聴をご希望の方は、事前に当法人総務部までお申し込みください（非公開除く）。

会議名	公開・非公開	開催予定
臨時理事会	公開・一部非公開	12月9日（月）18時～20時 廣瀬第2ビル地下会議室

### コーディネーター関係者のコーナー

以下は、医師およびコーディネーターの皆さまを対象としています。

## 9 年末年始の確認検査・再検査実施とSRL予約について <コーディネーターの方へ>

ドナーがすでにHLA(DNA)の情報を持っているか否かにより、対応が異なります。どちらに該当するかは地区事務局から申し送りますので、それに従って日程調整をお願いします。

<年末>

- ① 確認検査（検査項目：一般血液検査とHLA ビーズ法）⇒12月25日（水）採血分まで
- ② 確認検査（検査項目：一般血液検査のみ）・再検査 ⇒12月27日（金）採血分まで

<年始>

- ① 確認検査、再検査 ⇒ 1月6日（月）採血分から

<SRLの予約>

1月6日～10日に採血希望の場合は、12月25日（水）14:00まで